

# みんなの明倫 新聞 Vol.01

2014年(平成26年)12月22日 月曜日



## みんなの明倫会議スタート!

明倫地区を住み続けたい、訪れたい地域にするための方法を考え、実行していく「みんなの明倫会議」。「これから」を見据えた新しい視点で明倫を見つめなおし、地域を盛り上げるための作戦を一緒に練るための場がスタートしました。

### 第1回 みんなの明倫会議 開催概要

#### 日時

2014年11月8日(土) 13:30~16:00

#### 会場

明倫公民館

#### 参加者数

30名



#### プログラム

- 13:30 開会、あいさつ
- 13:35 取り組みについての説明
- 13:45 座学  
「コミュニティデザインで  
地域を元気にする方法」
- 14:25 ワークショップ  
「明倫地区の強みと弱みを考える」
- 15:35 全体共有
- 15:50 講評
- 16:00 閉会

#### 開会あいさつ

明倫地区は少子高齢化などの課題を抱えていますが、そうした状況の中で、この会が、若い方から年配の方まで明倫のいろいろな人の力を使って、地域を見直すきっかけになればと考えています。3年前からは、集落支援員による「住みたくなるまちづくり」の取り組みが進められてきました。この他にも地域のみなさんがやってみたいと思っている夢を実現し、明倫地区を元気にしていきたいですね。



(倉吉市自治公民館連合会 岡野 勝義 会長)

## みんなの明倫会議とは?

みんなの明倫会議は、総務省の地域力創造アドバイザー事業「明倫力創造推進会議」の一環として実施されるものです。明倫地区を住み続けたい、訪れたい地域にするための方法を考え、実行していく場です。

- 目的① 明倫地区の現状を共有します
- 目的② 明倫地区の将来像(ビジョン)を整理します
- 目的③ その将来像を実現するための方法を考え、実行していきます

明倫力創造推進室を事務局とし、アドバイザーに studio-L が入りながら、地域住民・団体のみなさん、地域外で明倫に興味のあるみなさんと一緒に会を進めていきます。



# 「コミュニティデザインで地域を元気にする方法」

地域を元気にする全国各地のコミュニティデザインの事例をご紹介します。

醍醐 孝典 (studio-L)

1976年大阪府生まれ。2006年より studio-L に参画し、様々な地域でコミュニティデザインのプロジェクトに携わっている。



## 事例1 島根県海士町

人口2400人ほどの離島、海士町では、住民参加型で「島の幸福」を目指した総合振興計画がつけられました。これをきっかけに、10代から40代の若者が中心となり住民同士で誘い合って楽しく暮らすための「お誘いやさん」や趣味を活かした交流の場づくり「海士人宿」など、新たな取り組みが生まれています。

## 事例2 福井県福井市

人口減少や空洞化などの課題を抱える福井市の駅前商店街地区で、まちなかを楽しむ仲間を増やすためスタートした「まちの担い手づくりプロジェクト」。これをきっかけに、商店街の空店舗を拠点とした自主企画が始まっています。毎月開催の「キチバル」は、商店街のアーケードに机を並べ夜通し語り合うもの。「きちづくり福井会社」という自主グループも設立されました。

### 人口減少社会を生きる私たち

人口減少時代を迎えている日本社会。人口が増加し、景気が上向いていた時代とは違う考え方や発想が必要になっています。一方で、現状を逆手に取り、発想を逆転すれば、人口減少社会の先進事例となる新しいモデルを生み出すことができます。

### コミュニティデザインとは？

コミュニティデザインは、地域のみなさん（コミュニティ）が、地域の課題を発見・解決していくことで、自ら地域を元気にしていくための過程を、デザインの力で支援していくもの。まちで楽しく活動し、お金ではない「儲け」を得る人を増やしていくものです。

## ワークショップ

# 「明倫地区の強みと弱みを考える」

明倫地区の強み（魅力）と弱み（課題）を話し合いました。また、弱みを強みに言い換え、課題を資源として活用する方法も考えました。ワークショップで出た意見の一部をご紹介します。（特に多かった意見は太字にしています。）

### 身近な自然

【強み】 自然・緑が多い / 水・空気がおいしい / 山・川が近い（鉢屋川、小鴨川、打吹山） / 野菜がおいしい / 虫 / まちの人達で鯉を育てている / 花いっぱいプランターが地域で育てられている

【強み】 親切な人が多い / 元気な高齢者が多い / 女性のパワーがすごい / すばらしい人材が多い / まちづくりに前向きな人が多い / 他にない活動をしている（ミツバチプロジェクト、IJUカフェなど） / 隣の人の顔が見える / 団結力が強い

【弱み】 子ども・若者の数が少ない / 高齢者が多くパワーが少ない / 人前に出たがらない / 悲観的 / まちづくり全体に連携が薄い / 近所づきあいが希薄になりつつある / 外部からの人が入りにくい



### ワークショップを楽しむ5つのコツ

「Yes, and（いいですね、それ）」というフレーズを使い、話し合いを前向きに進める準備体操

- ①人の話は最後まで聞く②全員が意見を出す③意見の批判をしない④面白い意見に便乗する⑤できない理由を探すより、できる条件を見つける

【強み】 地蔵盆の花火を60年継続している / 各町でそれぞれの祭がある / 地区でのイベントが多い

【弱み】 町の行事の参加者が少ない

【強み】 災害・事件が少ない / 交通の便が良い / 生活に必要な店がある / 町がコンパクト / 病院が多い / 介護施設がある / 保育園、幼稚園、児童センターがあり子育てに便利 / 土手・サイクリングロードがある / ウォーキングコースあり / 各地区に公民館がある

【弱み】 食べ物屋、飲み屋が少ない / 気軽に集まる場所、機会が少ない / 働く場が少ない / バスの本数が少ない / 交通量が多い（交通事故増加）

【強み】 他地区からの玄関口にある

【弱み】 これといった地元の特産品がない / 地区毎の悩みに差がある

### 行事

### 歴史文化

【強み】 他にない文化がある / 職人・技（鍛冶） / 小さな神社が多い / 八幡神社 / 仏師がいる / 昔からの伝統の暮らしがまだまだ残っている / お地蔵さんがすぐ近くにいる / 倉吉の商店が始まったという歴史 / 倉吉淀屋がある

【弱み】 自慢できるじげ料理が少ない

【強み】 昔ながらの街並が残っている / レトロで風情のある街並み / 細い小道が楽しい

【弱み】 人通りが少ない / 夜になるとさみしい / きれいな公園が少ない / さら地が目立つ

### 建物

【強み】 歴史的な建物、水源地がある / シンボル（円形校舎）がある / 銭湯（大社湯）がある / ゲストハウスがある / 趣のある民家が残っている

【弱み】 空き家や老朽化した建物 / 家の間口が狭く建て替えができてにくい

### その他

### 弱みを強みに！

弱みを強みに言い換えてみると、「空き家は活用できる資源」「人が少ないからこそ結束力がある」などの意見が出ました。このように逆転の発想で、弱みを強みとして活かす発想が大切です。

### 講評 (studio-L 醍醐さん)

今日のワークショップでは、円形校舎、人のつながりや親切さ、ものづくりや技など、明倫の資源がたくさん見つかりました。まちづくりの取り組みがすでにある、住みやすいという意見も多かったですね。一方で、若者が少

い、高齢者の数が増え、一部の人に地域運営の負担が偏っているといった課題が出ました。倉吉市全体の中での位置づけについても話が及んでいました。今後、若者の視点も取り入れ、明倫が目指す方向性について、いろいろな可能性を探っていきたいですね。

### 参加者のみなさんの感想（アンケートより抜粋）

知っているようで知らない地域の特色を再認識できた。 / 世代の違う方との交流の中で自分の考え方を整理できた。 / “Yes and”が大切なことが実感できました。 / 私はいい所に住んでいるのだなと改めて感じました。